

福島第一原子力発電所 建屋開口部等における空气中放射性物質の核種分析結果<1/8>

参考値

(データ集約：4/10)

採取場所	運用補助共用施設 3階 (機器ハッチ近傍)		運用補助共用施設 3階 (南側階段前)		運用補助共用施設 3階 (北側階段前)		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
	試料採取日時刻	平成25年3月18日 8時12分	平成25年3月19日 9時38分	平成25年3月18日 8時14分	平成25年3月19日 9時40分	平成25年3月18日 8時09分	
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	6.4E-08	0.00	ND	-	6.3E-08	0.00	2E-03
Cs-137 (約30年)	1.6E-07	0.00	ND	-	1.1E-07	0.00	3E-03

※ 本分析は、燃料取り扱い時の空气中放射性物質の核種分析結果である。

※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

○.○E-○とは、○.○×10^{-○}と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約5E-8Bq/cm³、Cs-134が約8E-8Bq/cm³、Cs-137が約1E-7Bq/cm³。

粒子状のI-131が約3E-8Bq/cm³、Cs-134が約5E-8Bq/cm³、Cs-137が約7E-8Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

福島第一原子力発電所 建屋開口部等における空气中放射性物質の核種分析結果<2/8>

参考値

(データ集約：4/10)

採取場所	運用補助共用施設 3 階 (機器ハッチ近傍)		運用補助共用施設 3 階 (南側階段前)		運用補助共用施設 3 階 (北側階段前)		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
	平成25年3月21日 8時28分	平成25年3月22日 8時08分	平成25年3月21日 8時31分	平成25年3月22日 8時14分	平成25年3月21日 8時25分	平成25年3月22日 8時03分	
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	4.3E-07	0.00	3.9E-07	0.00	4.0E-07	0.00	2E-03
Cs-137 (約30年)	8.0E-07	0.00	7.7E-07	0.00	6.5E-07	0.00	3E-03

※ 本分析は、燃料取り扱い時の空气中放射性物質の核種分析結果である。

※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

○.○E-○とは、○.○×10^{-○}と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約5E-8Bq/cm³、Cs-134が約9E-8Bq/cm³、Cs-137が約1E-7Bq/cm³。

粒子状のI-131が約4E-8Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

福島第一原子力発電所 建屋開口部等における空气中放射性物質の核種分析結果<3/8>

参考値

(データ集約：4/10)

採取場所	運用補助共用施設 3 階 (機器ハッチ近傍)		運用補助共用施設 3 階 (南側階段前)		運用補助共用施設 3 階 (北側階段前)		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
	平成25年3月22日 8時12分	平成25年3月23日 18時34分	平成25年3月22日 8時17分	平成25年3月23日 18時38分	平成25年3月22日 8時07分	平成25年3月23日 18時40分	
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	6.5E-08	0.00	5.6E-08	0.00	7.5E-08	0.00	2E-03
Cs-137 (約30年)	1.0E-07	0.00	9.7E-08	0.00	1.5E-07	0.00	3E-03

※ 本分析は、燃料取り扱い時の空气中放射性物質の核種分析結果である。

※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

○.○E-○とは、○.○×10^{-○}と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約3E-8Bq/cm³、Cs-134が約6E-8Bq/cm³、Cs-137が約8E-8Bq/cm³。

粒子状のI-131が約2E-8Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

福島第一原子力発電所 建屋開口部等における空气中放射性物質の核種分析結果<4/8>

参考値

(データ集約：4/10)

採取場所	運用補助共用施設 3 階 (機器ハッチ近傍)		運用補助共用施設 3 階 (南側階段前)		運用補助共用施設 3 階 (北側階段前)		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
	試料採取日時刻	平成25年3月25日 8時13分	平成25年3月26日 8時40分	平成25年3月25日 8時15分	平成25年3月26日 8時44分	平成25年3月25日 8時10分	
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	8. 8E-08	0. 00	5. 9E-08	0. 00	1. 3E-07	0. 00	2E-03
Cs-137 (約30年)	1. 6E-07	0. 00	1. 2E-07	0. 00	2. 1E-07	0. 00	3E-03

※ 本分析は、燃料取り扱い時の空气中放射性物質の核種分析結果である。

※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

○. ○E-○とは、○. ○×10^{-○}と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約4E-8Bq/cm³、Cs-134が約9E-8Bq/cm³、Cs-137が約1E-7Bq/cm³。

粒子状のI-131が約3E-8Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

福島第一原子力発電所 建屋開口部等における空气中放射性物質の核種分析結果<5/8>

参考値

(データ集約：4/10)

採取場所	運用補助共用施設 3階 (機器ハッチ近傍)		運用補助共用施設 3階 (南側階段前)		運用補助共用施設 3階 (北側階段前)		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
試料採取日時刻	平成25年3月26日 8時42分	平成25年3月27日 8時19分	平成25年3月26日 8時46分	平成25年3月27日 8時22分	平成25年3月26日 8時37分	平成25年3月27日 8時15分	
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-	ND	-	2E-03
Cs-137 (約30年)	7.2E-08	0.00	ND	-	ND	-	3E-03

※ 本分析は、燃料取り扱い時の空气中放射性物質の核種分析結果である。

※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

○.○E-○とは、○.○×10^{-○}と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約4E-8Bq/cm³、Cs-134が約9E-8Bq/cm³、Cs-137が約1E-7Bq/cm³。

粒子状のI-131が約3E-8Bq/cm³、Cs-134が約5E-8Bq/cm³、Cs-137が約7E-8Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

福島第一原子力発電所 建屋開口部等における空气中放射性物質の核種分析結果<6/8>

参考値

(データ集約：4/10)

採取場所	運用補助共用施設 3階 (機器ハッチ近傍)		運用補助共用施設 3階 (南側階段前)		運用補助共用施設 3階 (北側階段前)		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
	試料採取日時刻	平成25年3月27日 8時23分	平成25年3月28日 8時22分	平成25年3月27日 8時22分	平成25年3月28日 8時25分	平成25年3月27日 8時17分	
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	6.4E-08	0.00	ND	-	6.2E-08	0.00	2E-03
Cs-137 (約30年)	1.4E-07	0.00	1.4E-07	0.00	9.8E-08	0.00	3E-03

※ 本分析は、燃料取り扱い時の空气中放射性物質の核種分析結果である。

※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

○.○E-○とは、○.○×10^{-○}と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約4E-8Bq/cm³、Cs-134が約8E-8Bq/cm³、Cs-137が約1E-7Bq/cm³。

粒子状のI-131が約2E-8Bq/cm³、Cs-134が約5E-8Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

福島第一原子力発電所 建屋開口部等における空气中放射性物質の核種分析結果<7/8>

参考値

(データ集約：4/10)

採取場所	運用補助共用施設 3 階 (機器ハッチ近傍)		運用補助共用施設 3 階 (南側階段前)		運用補助共用施設 3 階 (北側階段前)		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
	平成25年3月28日 8時26分	平成25年3月29日 8時51分	平成25年3月28日 8時28分	平成25年3月29日 8時46分	平成25年3月28日 8時22分	平成25年3月29日 8時39分	
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	1.3E-07	0.00	9.8E-08	0.00	2.0E-07	0.00	2E-03
Cs-137 (約30年)	1.6E-07	0.00	1.4E-07	0.00	2.9E-07	0.00	3E-03

※ 本分析は、燃料取り扱い時の空气中放射性物質の核種分析結果である。

※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

○.○E-○とは、○.○×10^{-○}と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約5E-8Bq/cm³、Cs-134が約8E-8Bq/cm³、Cs-137が約1E-7Bq/cm³。

粒子状のI-131が約3E-8Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

福島第一原子力発電所 建屋開口部等における空气中放射性物質の核種分析結果<8/8>

参考値

(データ集約：4/10)

採取場所	運用補助共用施設 3 階 (機器ハッチ近傍)		運用補助共用施設 3 階 (南側階段前)		運用補助共用施設 3 階 (北側階段前)		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
	試料採取日時刻	平成25年3月29日 8時55分	平成25年3月30日 17時55分	平成25年3月29日 8時50分	平成25年3月30日 17時58分	平成25年3月29日 8時44分	
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	6.4E-08	0.00	5.2E-08	0.00	7.7E-08	0.00	2E-03
Cs-137 (約30年)	1.5E-07	0.00	1.5E-07	0.00	1.1E-07	0.00	3E-03

※ 本分析は、燃料取り扱い時の空气中放射性物質の核種分析結果である。

※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

○.○E-○とは、○.○×10^{-○}と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約3E-8Bq/cm³、Cs-134が約6E-8Bq/cm³、Cs-137が約8E-8Bq/cm³。

粒子状のI-131が約2E-8Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。